



## 研修リーダー 昨年の実績と研修の必要性について

発表者：岐阜ロータリークラブ  
研修リーダー 高橋 伸治

研修リーダーの人選については、ロータリー情報（R情報）委員会の委員長経験者が、就くことになっています。

R情報委員会の委員は、全員が会長経験者となっていますので適任と判断しました。

そこで、研修内容はR情報の事業計画の中に取り入れ委員会と合同で実施した。

事業内容は以下の取りです。

### 1. ファイヤーサイドミーティング（FM）

歴代会長会、お茶会を含め年間5回開催

会員は必ず1回は出席することになっている。

会食をしながら約2時間 参加者 約25名

実施内容

第1回目 在籍歴の長い先輩会員から岐阜ロータリークラブの歴史と、脈々と受け継がれてきた伝統の重みなどについて話を聞き理解を深めた。

第2回目 観桜例会として桜を見ながら、出席した会員からロータリーに入会して思う事、感じたことなどの各自の「ロータリー感」について意見交換を行った。

第3回目 新型コロナウイルス感染が続く状況であったので、IT関連企業の会員から、オンライン会義・テレワークなど今後のデジタル社会の動向について講演してもらい職業を通じ今後どのような社会貢献が出来るか考える機会となった。

### 2. インフォメーション

入会予定者に対し約1時間程度実施。

インフォメーションの内容

1. ロータリークラブの歴史、ロータリークラブの基本理念、
2. 幹事から、岐阜クラブの細則・内規についての説明

### 3. 地区出向者、セミナー参加者から例会時に報告

研修の必要性については、研修リーダー単独での実施は難しいと思うので、これからもR情報委員会など今ある委員会との共同事業として会員にロータリーの知識を深めてもらうことは必要だと思います。